

クミアイプロパンの保安体制強化と安全対策へ向けた取り組みについて



料理監修/高橋ヒサ子
管理栄養士・いわて糖尿病療養指導士

レッツトライ
クッキング!

Let's try **8** orders
cooking

ねぎと鶏の照り煮

♥材料(2人分)

- ねぎ…2本
- 鶏むね肉…200g
- 塩、こしょう…適量
- A(酒、砂糖、みりん、しょうゆ…適量)

♥作り方

- ①鶏肉に軽く塩、こしょうをしておく。
ねぎは3cmくらいのぶつ切りにする。
- ②Aを合わせておく。
- ③鶏肉は油で軽く炒め、酒をふって中まで火を通しておく。
- ④ねぎは魚焼きグリルで焼く。
- ⑤③と④を鍋に入れ、②をからめて仕上げる。
好みて粉山椒をふる。

純情産地発 **KLARA** vol.844 11
クラーラ 2019

タイトルのKlara (クラーラ) は、宮沢賢治の手帳に記されている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



contents

Let's try cooking	02	みのるinfo	07
特集 クミアイプロパンの保安体制強化と安全対策へ向けた取り組みについて	03	営農支援レポート	08
イベント情報	06	純情むすめ活動記	09
消費地だより	07	のん活動記	09
		純情人	09
		ニュースワイドアングル	10

24時間・365日 お客様のガスを見守ります!

クミアイプロパン あんしんキャッチ“24”

1. ガスが大量に流れた時 ガスメーターからの信号 → 監視センター → 緊急出動!

2. 消し忘れ、長時間使用があった時

3. ガス漏れやメーター遮断が起きた時

※震度5以上の揺れがあった場合はガスを遮断します。

信号確認後、電話で安全確認を行います。出動の必要があればJAが緊急出動いたします。

お客様の声

A県:Nさん
コンロの火を消し忘れたまま畑仕事に出してしまったことがありましたが、すぐにJAの方が家までガスの安全確認に来てくれました。JAのガスは24時間見守っていることを知り、安心しました。

JAからのお知らせ

24時間・365日見守る「あんしんキャッチ“24”」を導入し、安心、安全なガスをお届けしています。またお客様のお宅に伺い、**無料点検**を実施しています。最新のガス器具もご提供し、皆様の**快適な暮らしづくりのお手伝い**をいたします。

- お客様の電話回線を使用している場合がありますのでインターネット回線へ変更の際は、ご連絡ください。
- お客様の電話回線を使用しない、無線タイプの「あんしんキャッチ“24”」もあります。(詳しくは裏面をご覧ください)

無線NCU“ガスキャッチ”ネットワーク

JAあんしんセンター
ガスメーターの緊急警報や検針情報を受信

(株)JA-LPガス情報センター
無線ネットワークを管理

最大600m

FOMA(携帯電話網)

ガスメーター

ガスボンベ

ガスキャッチの設置場所

1 親機(ハブ)

JAあんしんセンターと各家庭を中継し、広範囲に電波を飛ばすために出来るだけ高い位置に設置します。親機1台で概ね半径600m、最大300台のガスメーターと接続できます。

2 子機(ノード)

基本的にガスメーターの近くへ設置しますが、従来の集中監視用端末(NCU)が設置されている場合は、同じ場所へ設置します。電波の感度の関係で高い位置への設置をお願いする場合があります。



はじめに

私たちは、日常生活でガス・灯油・電気の主要エネルギーを暮らしに合わせ使用しています。

電気や都市ガスが電線や導管で運ばれる大規模集中型エネルギーであるのに対して、LPガスや灯油は軒下に設置したLPガス容器や灯油タンクから直接供給する独立・分散型エネルギーです。そのため、災害時の復旧が早く、ご家庭のライフラインとして貢献できるエネルギーであることが特徴的です。

本県のJAプロパンガス(以下LPガス)事業では、LPガスを組合員のみならず安心してお使いいただくために、LPガスの安定供給と安全対策に努めています。ここでは、本会LPガス事業が実践する、保安体制の強化と安全対策へ向けた取り組みをご紹介します。

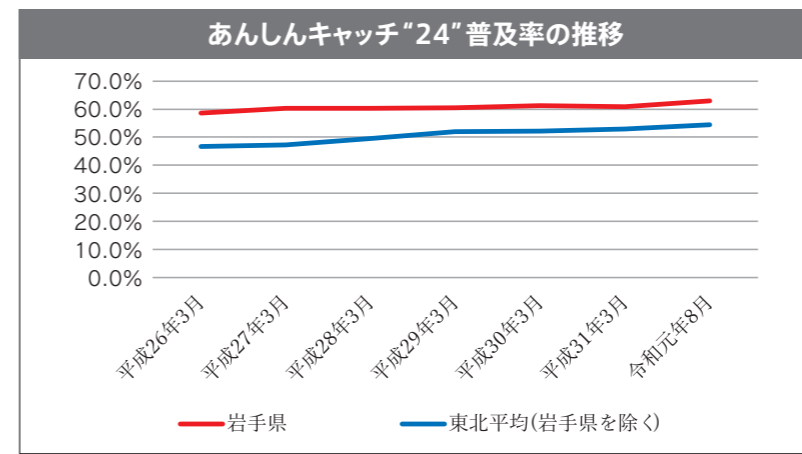
1. LPガス販売所への保安指導について

JA全農では、JAおよび関連会社の各LPガス販売所の「確実な保安の確保」と「高度化」を図るため、全21カ所のLPガス販売所を対象に3年に1度の保安指導を行っています。今年度は、7カ所の販売所を対象とした保安指導を予定しています。保安指導では、LPガス事業に係る保安上の注意事項について自主点検を行い、点検結果を各販売所へフィードバックすることで、各販売所の保安意識の向上と個別に抱える課題の解消に努めています。

2. あんしんキャッチ“24”の導入について

「あんしんキャッチ“24”」は、LPガスの消し忘れやガス栓の誤開放など緊急事態が発生した場合に、お客様を事故や火災から守る緊急システムです。マイコンを内蔵したガスメーターが異常を感知し、内蔵の遮断弁でガスを遮断するとともに、お客様の電話回線や無線通信を通じて「LPガス集中監視センター」へ通報します。

「LPガス集中監視センター」では、24時間365日体制で監視を行っており、警報を受信すると同時にお客様宅



へ電話をかけて安全確認を行い、状況に応じて緊急時対応者(JAの担当者や保安受託者)に出動を依頼します。また、圧力センサーを内蔵したLPガスメーターで、双方向システムによって監視センターからも消費者宅のLPガスメーターの開閉が可能となっています。このことから、ガス使用者の不注意によるガスの漏洩やガス配管からの漏洩事故、ガス燃焼機器の消し忘れによる事故を防止します。メーターによりガスを遮断した際の復帰補助も行います。



「おわりに」

本会プロパンガス事業では、今回紹介した取り組みも含めた、組合員・消費者のライフラインを支え、安全・安心・快適な暮らしを支援する取り組みを継続して実践してまいります。

今後は、これらの取り組みに加えて、「JAでんき」の普及促進に向けて、各JAと協議を取り進め、電気・灯油・ガスの組合員宅や営農向けへのトータルエネルギー提案を実践する体制づくりに注力してまいります。



「岩手のまなま稲刈りツアー」の様子



集合写真

後にも頑張る販売したい」といったお声を頂き、非常に有意義なイベントになったと感じております。本会では、「実需の見える化」を進めており、生産されたお米がどのように売られているのかをしっかりと生産者に示し、安心して生産していただける体制を整えてまいります。今回の稲刈りツアーも「実需の見える化」の一環として産地と消費地の交流の場を設けることで信頼を生み、良い関係性を築くことにつながると考えております。

新米の販売がスタートするにあたり、岩手県産米のPR活動も本格化してまいります。毎年、産地の皆様には消費地に来ていただき、試食宣伝等にご協力いただいております。岩手県産米の販売促進を大きく後押しいただいております。産地の方の顔が見えることで消費者も安心して商品を選ぶことができるのではないのでしょうか。産地と消費地がつながりを持つことは非常に大きな意味があると考えております。引き続き、元年度の販売でもご助力をお願いいたします。

関東や関西のような消費地では、様々な産地の米が集まり、産地間での競争が激しさを増しています。消費地で求められているものもしっかりと見極め、産地へつなぐことが私たち消費地販売課の使命であると日々感じております。岩手県産米の地位をさらに向上させるよう、日々精進してまいります。

純情ブランド消費地の「今」をレポートします。

消費地販売部 発

消費地だより

産地と消費地をつなぐ

関西の百貨店や量販店では徐々に各産地の新米が並び始め、売り場を賑わしております。岩手県でも9月後半より各地で稲刈りが始まり、いよいよ令和元年度産米の出荷がスタートします。岩手県産米は安定した品質や食味などにおいてお取引先様より非常に高い評価をいただいております。新米への期待も高まっております。

そんな中、9月28日(土)に関西で岩手県産米を販売している皆様を岩手へお招きし、「岩手のまなま稲刈りツアー」を実施いたしました。今回お越しいただいたのは、米卸のライスフレンド(株)と実需の皆様で合計23名になります。本イベントは岩手ふるさと農協と生産者の皆様のご協力のもと毎年実施しております。天気にも恵まれ、参加された方からは「生産現場のことを少しでも知ることができて良かった」、「今



消費地販売課 工藤 達也

後にも頑張る販売したい」といったお声を頂き、非常に有意義なイベントになったと感じております。本会では、「実需の見える化」を進めており、生産されたお米がどのように売られているのかをしっかりと生産者に示し、安心して生産していただける体制を整えてまいります。今回の稲刈りツアーも「実需の見える化」の一環として産地と消費地の交流の場を設けることで信頼を生み、良い関係性を築くことにつながると考えております。

新米の販売がスタートするにあたり、岩手県産米のPR活動も本格化してまいります。毎年、産地の皆様には消費地に来ていただき、試食宣伝等にご協力いただいております。岩手県産米の販売促進を大きく後押しいただいております。産地の方の顔が見えることで消費者も安心して商品を選ぶことができるのではないのでしょうか。産地と消費地がつながりを持つことは非常に大きな意味があると考えております。引き続き、元年度の販売でもご助力をお願いいたします。

関東や関西のような消費地では、様々な産地の米が集まり、産地間での競争が激しさを増しています。消費地で求められているものもしっかりと見極め、産地へつなぐことが私たち消費地販売課の使命であると日々感じております。岩手県産米の地位をさらに向上させるよう、日々精進してまいります。

毎月行われる イベントを 紹介します!

Monthly Event Introduction

11月開催予定イベント

11月6日	営農支援部	第6回TACアグリビジネススクール
11月9日	畜産酪農部	岩手県畜産共進会肉牛の部
11月9日~10日	畜産酪農部	サミットいわて牛フェア
11月9日~10日	消費地販売部	「岩手県フェア」inアピタ千代田橋店
11月12日	畜産酪農部	令和元年度岩手県農協養豚経営者連絡協議会研修会
11月22日	畜産酪農部	岩手県・若手酪農家の集い
11月28日~30日	園芸部	東日本大震災復興応援元気市in豊洲市場
11月29日	園芸部	いわてフラワーコンテスト2019表彰式
11月29日	畜産酪農部	いわて牛・いわて短角牛学校給食の日
12月上旬まで	管理部	純情産地いわての店「みのるダイニング」 「秋のフルーツフェア」

スケジュールは変更になる場合があります

ユニー「岩手県フェア」

消費地販売部

【日時】11月9日(土)~10日(日)
【開催場所】アピタ千代田橋店

岩手県産農畜産物の主要な取引先である「ユニー(株)」の総合スーパー、「アピタ千代田橋店」にて「岩手県フェア」が開催されます。岩手県とユニー株式会社が連携し、毎年行われているこのイベントは、中京圏の消費者に向けた県産農畜産物のPRを目的に開催されます。

今年はアピタ千代田橋店で11月9日(土)~11月10日(日)の2日間にわたり開催する予定です。店頭にて、米・畜産加工品・乳製品・水産加工品・銘菓の試食販売を実施します。

ぜひ足をお運びください!



店頭には岩手の農畜産物尽くしのコーナーが設けられました



先着100名のお客様に「金色の風(1袋300g)」をプレゼントしました

純情産地いわての店「みのるダイニング」×JAいわて中央「秋のフルーツフェア」開催中!

【期間】12月上旬まで

純情産地いわての店「みのるダイニング」では現在、JAいわて中央とコラボした「秋のフルーツフェア」を開催中です。期間中、県内で収穫適期を迎えたりんご・西洋なしを使用し、「焼きりんご」「焼き洋なし」などのメニューをご提供します。

使用するりんご・西洋なしは県内でも有数のフルーツ産地であるJAいわて中央管内(盛岡市・矢巾町・紫波町)のものを使用。りんご5品種、西洋なし4品種をそれぞれの旬な時期に合わせて提供します。期間は12月上旬までを予定しております。

ぜひ、県産フルーツの旬な味を確かめてみてください。純情産地いわての店「みのるダイニング」にてお待ちしております。



りんごと洋なし 提供カレンダー		りんごの味 早見表	
りんご	紅いわた 9月下旬~10月上旬 ジョナゴールド 10月上旬~11月上旬 トキ 10月上旬~10月下旬 サンふじ 11月上旬~ ジナノゴールド 11月下旬~	酸味(酸) 甘味(甜) (※JAいわて中央りんご産地の食感により異なります)	酸味(酸) 甘味(甜)
洋なし	マリゲットマリラ 9月下旬~10月中旬 パラード 10月中旬~11月上旬 レクラーク 10月下旬~11月下旬 ラ・フランス 11月上旬~		

いわてJA-SS お笑い寄席

番外編
JA全農

【日時】12月9日(月)
【開催場所】岩手県民会館 大ホール

いわてJA-SSチェーンが協賛する「いわてJA-SS お笑い寄席」が開催されます!

詳細は以下のとおりです。

- 日時: 令和元年12月9日(月)
- 【開場】17:30~ 【開演】18:30~(予定)
- 会場: 岩手県民会館大ホール
- 入場料金: ☆S席 前売り券 3,800円 当日券 4,500円
☆A席 前売り券 3,000円 当日券 3,500円

● プレイガイド: ローソンチケット・セブンチケット・カワトク・アネックスカワトク・フェザン・岩手県民会館・テレビ岩手アカデミーにて前売りチケットが絶賛販売中です。ぜひお買い求めください!



令和元年 12月9日 17時30分【開演】18時30分(予定)
岩手県民会館 大ホール
入場料金 S席 前売り券 3,800円 当日券 4,500円
A席 前売り券 3,000円 当日券 3,500円
U字工事

生産者と共に奮闘する
営農支援部の活動をレポート

TRY! 営農支援 レポート

JAいわて平泉 「銀座三越みのりみのるマルシェ」を開催



営農支援部 次長
信田 陽一

実りの秋を迎えた9月28日(土)東京銀座三越9Fフロアでみのりみのるマルシェ「いわて平泉の実り」を開催いたしました。本県が開催するのは2年ぶり2回目となります。

この「みのりみのるマルシェ」は2011年9月から開催され今回で84回目。全国の生産者・JAがマルシェを通じて直接販売し、地元の農畜産物や生産者の思い・地域の歴史文化などの魅力をPRします。この「みのりみのるマルシェ」を開催することで、地域ブランドのファンや創出やJA・TACの皆様が地元の農畜産物を紹介・販売



JAいわて平泉管内を始めとした県産の農畜産物がズラリ

する際の手法を確立することを目的に開催しています。今回のマルシェで販売した農産物は、岩手の最高級ブランド米「金色の風」「ひとめぼれ」の新米をはじめ、トマト・きゅうり・ナス・ピーマン・ミニトマト・生しいたけ・りんご(紅いわて)・梨(豊水)など、この時期にJAいわて平泉管内で揃えられるおいしいものが満載でした。また、加工品では数々の賞を受賞した「美トドレツング」をはじめとした野菜ドレッシングや、いわいの「米めん」・ブルーベリージャム・ピーマンみそ・大橋がんづき・りんごジュース・トマトジュース・トマトビールなど、地域の素材を生かした魅力ある商品が店頭には並べられました。当日は、JAいわて平泉の佐藤組合長を筆頭に、佐々木理事、千葉理事、営農部・畜産部・園芸部の職員、また一関市・平泉



多くの方にご来店いただきました

町の担当者の方などが一堂に会し、揃いのユニフォームに身を包みながら店頭で立ち販売をしていただきました。マルシェの開店直後から途切れることなく大勢のお客様が訪れ、午前中から売り切れとなる商品もありました。また、マルシェに隣接する「みのる食堂」「みのりカフェ」では、マルシェの連動企画としてそれぞれ「いわて南牛の肉じゃが・すき焼き」や「梨のスムージー」のメニューを提供し、こちらも多くのご注文をいただきました。加えて会場には、JAのオリジナルキャラクター「このみん」も登場し、JAいわて平泉の頭文字「H」をイメージした可愛らしい姿から、来店された親子連れや子供たちに大人気となりました。一関地方の食文化を伝えるイベントとして開催した「餅のつかみどり」も、大勢の方に挑戦をいただくなど大好評でした。マルシェは1日限りでしたが、大盛況のなか終わりを迎え、来店されたすべての方にJAいわて平泉の農畜産物の魅力をPRすることができました。



お揃いのユニフォームを着て集合写真

笑顔がはじける 純情むすめ 活動記



2019
いわて純情むすめ
中村 絵里香

「たくさんの方の笑顔に出会って」

10月14日(月)、「2019 躍進宮守まつり・JAふれあいまつり」に参加させていただきました。今回の活動では、餅まき大会・餅の配布のお手伝いや、牛乳早飲み大会、牛肉とヨーグルトが当たる抽選会の補助などをさせていただきました。

最初に、ステージで自己紹介をしたのですが、小さな子どもや中高生、家族連れの方や年配の方など、さまざまな年代の方々が多く会場にいらつしやういて、笑顔で拍手してくださったので、とても嬉しかったです。まつり当日は気温が低く、雨も降っていて、肌寒かったです。まつりに来ていた人々の笑顔で、とてもあたたかい気持ちになりました。

牛乳早飲み大会では、当日は寒かったにも関わらず、多くの人達が元気に参加していて、私もエネルギーをもらえました。私の中で特に印象に残っているのが、大会の子どもの部で優勝した男の子です。優勝したあと、司会の方から一位になった感想をきかれたときに、少し悩んだ後、「ごちそうさまでした。」と一言答えていたのが、とても可愛らしかったです。

餅つき・餅のお振舞いのときは、たくさんの方が「ありがとう」と笑顔でお餅を受け取ってくださいたり、子どもたちがおいしそうにお餅を食べている様子を見て、私まで笑顔になりました。



vol.7

のんさんが出演する 「いわて純情米」の 新CMが放映中!

JA全農いわての宣伝本部長であるのんさんが出演する「いわて純情米」の新CMが放映中です。本CMでのんさんは、岩手の自然の中でたくましく育つ「稲穂」役に。大自然の恵みと厳しさにさらされる稲穂の気持ちを代弁しています。「宣伝本部長として稲穂の気持ちがあったことは大きい。『どんな時でも頑張るぞ』という、岩手の人々と気持ちがリンクしたようにも感じます。」と話す、のんさんの熱演に注目です。県内で12月まで放映中、YouTubeでは2月までメイキングも公開しています。本会HPにも掲載中ですので、ぜひご覧ください。



強風や雨の中でも強く生きる「稲穂」を演じた のんさん



- 趣味・特技
最近の趣味はドライブ、釣り、温泉巡りです。
- 現在の担当業務
主に「酪農理解醸成」と「牛乳消費拡大」の業務を担当しています。県内の小学生を対象とした出前教室では、県産牛乳の飲み比べや乳牛に関する授業を行っています。また、いわて牛乳カップ等の各種イベントでは県産牛乳の配布等を行っています。
- これからどんな職員になってみたいか
今までの形にとらわれず、新しいことにも挑戦できる職員になりたいです。また、どんな仕事でも楽しみながら頑張りたいと思います。
- その他アピール
酪農家の皆様が大切に搾って作られた県産牛乳をたくさんの方へPRしていきたいと思っています。よろしくお願いします。



畜産酪農部 酪農課
おくだいら まき
奥平 真生さん



●「過去最高の出来」 令和元年産米販売開始! 令和元年10月12日(土)

いわての美味しいお米 新米フェア

JA全農いわて・岩手県・(株)純情米いわておよびいわて純情米需要拡大推進協議会は10月12日(土)、イオンモール盛岡で、「いわての美味しいお米 新米フェア」を開催しました。9月末から始まった収穫も終わりを迎え、いよいよ始まった「令和元年産米」の販売を記念し、達増拓也岩手県知事・久保憲雄岩手県五連会長・本会島山俊彰本部長ら関係者5名がセレモニーに出席しました。セレモニーでは、達増岩手県知事があいさつを述べ、「今年も、農家の皆さんの汗の結晶であるおいしい新米をお届けできることを嬉しく思う。ぜひこの機会に全国最高水準の岩手のお米を多くの方に味わってほしい。」と県産米の品質の高さへの自信をのぞかせました。

セレモニー会場では、先着200名の来場者を対象に岩手県オリジナル水稲品種「金色の風」300g・「銀河のしずく」300gとオリジナルエコバッグのプレゼント企画を実施。セレモニー開始前から長蛇の列ができました。セレモニー終了後は、イオンモール盛岡の店頭にて「金色の風」「銀河のしずく」の新米の無料試食を実施し、達増知事ら関係者も新米の味を確かめました。達増知事は、試食した金色の風を「過去最高の出来」と評価し、大きく頷きました。



新米を鎌で手刈りするユニークな「稲刈りセレモニー」



店頭で新米の試食会が行われました

●茶美豚をつくる「飼料用米」を刈り取り 令和元年10月15日(火)

2019年茶美豚 飼料用稲刈り・産地視察研修会

10月15日(火)、花巻市湯口の圃場にて、「2019年茶美豚 飼料用稲刈り・産地視察研修会」が開催されました。神奈川・静岡・山梨を中心に宅配及び店舗事業を展開している「生活協同組合ユーコープ」と、JAいわて花巻、JA全農いわて、JA全農北日本くみあい飼料(株)、(株)いわちく、JA全農ミートフーズ(株)が共同で行うこの取り組みは、ユーコープ商品「茶美豚」に給餌する飼料用米の田植え・収穫をユーコープ職員自らが体験することが目的。同日は、稲刈り体験やJA全農いわての広域集出荷施設「絆」の視察等を行いました。

「茶美豚」は、生産者を指定し、緑茶抽出物(カテキン)を配合した専用飼料で健康に育てられているユーコープの産地指定商品。岩手県産の茶美豚は、専門飼料に水稲を使用していることが特徴です。

稲刈り体験では、(株)アドバンスの島山英剛氏の指導のもと、8名の参加者が手刈りやコンバインでの収穫を体験しました。刈り取った飼料用米は、飼料として加工され、12月ごろから茶美豚に給餌される予定です。



自分たちで刈り取った稲をもって記念撮影



秋も深まり、肌寒い日が増えてきました。外で吐く息が空気に白く溶けると、冬の始まりを感じます。みなさんは「実りの秋」をいかがお過ごしでしょうか。私の食欲は、「秋の味覚」のあまりのおいしさにとどまるところを知りません。「金色の風」「銀河のしずく」の新米の食べ比べをしてみました。どちらも違った良さがありました。みなさんもぜひ食べ比べをしてみてください。

さて、実りの秋を迎えた岩手県では収穫祭や農業祭などたくさんイベントが各地で催されました。「2019いわて純情むすめ」のメンバーは大忙しでしたが、多くの方と触れ合いながら彼女たちも楽しんで業務に励んでいる様子が伺えました。彼女たちの業務の様子はfacebook等で発信していますので、ぜひチェックしてみてください!

(毛塚)

●8年ぶり 目玉は自慢の「いわて牛」! 令和元年10月19日(土)~20日(日)

東京食肉市場まつり

国内産の牛肉・豚肉の消費拡大と「市場」の認知拡大・理解促進を目的に行われる「東京食肉市場まつり2019」が、10月19日(土)、20日(日)の2日間、東京都中央卸売市場東京食肉市場にて開催されました。普段は一般開放されていない「市場」を年に1度だけ特別開放し、国内産の牛肉・豚肉の無料試食や特別販売を行うこのイベントは、今年で38回目を迎えました。国内産の牛肉・豚肉や加工品をリーズナブルに購入・無料で試食できることから、例年多くの人がおいしい肉を求めて集まる好評イベントとなっています。

同イベントは毎年、来場者に推奨銘柄牛の無料試食や特別販売を行っており、今年の推奨銘柄牛には岩手県産ブランド牛「いわて牛」が選ばれました。

当日は、「いわて牛」のしゃぶしゃぶをメインに、もつ煮込みやとんかつの無料試食が実施され、23の食肉事業者などが牛肉・豚肉、加工食品等を販売しました。他にも、岩手県の観光物産販売コーナーが設けられ、特設されたステージでは盛岡さんさ踊りやミニライブ、岩手県出身の著名人・ご当地ヒーロー等が出演するトークショーも行われ、「岩手」尽くしのイベントになりました。会場には、2日間で約2万3千人あまりの来場者が訪れました。



開会式に出席した関係者ら

●盛岡市場 最高価格10万円! 令和元年9月20日(木)

令和元年度「紅いわて」トップセールス

9月26日(木)に盛岡市中央卸売市場で、岩手県オリジナル品種のリンゴ「紅いわて」のトップセールスを行いました。「紅いわて」は濃い赤色と強い甘み、多くの果汁と歯触りの良さが特徴的です。今年是好天が多かったため、例年より糖度が高い出来となりました。

当日は200箱が出荷され、特秀一箱28玉は同市場最高価格10万円で(株)松紀(本社:秋田市)が競り落としました。また、同日の大阪市中央卸売市場で行われた競りでは、特秀一箱が25万円で落札されました。市場出荷9年目となる今年度は、23,000ケース/10kg(前年実績比124%)の出荷を計画しています。

JA全農いわて高橋司副本部長は、「今年の紅いわては順調に育ち、より質が高い出来となった。生産関係者や流通関係者と一体となって紅いわてをPRしていく」と話しました。



紅いわてをPRする高橋副本部長



特秀28玉は10万円で落札(盛岡会場)

●音楽の力で県産農畜産物をPR 令和元年9月23日(月)

いしがきミュージック・フェスティバル2019

9月23日(月)に行われた「いしがきミュージック・フェスティバル2019」にJAいわてグループがブースを出展しました。

県産の農畜産物を使用したフランクフルト・海鮮焼き・焼きそば・リンゴジュースなどの販売に加え県産トマトを使った「トマトすくい」やJAいわてグループオリジナルTシャツが当たる無料の「ガラポン抽選会」などを実施しました。

当日はあいにくの雨でしたが、至る所から聞こえる音楽と溢れかえった来場者の歓声で会場は熱気に包まれていました。

JAいわてグループのブースには「じゅんきくん」「にぎったくん」もPRに参加し、多くのお客様にご来店いただきました。

JAいわてグループは、このような活動を通して県産農畜産物の認知拡大・普及促進に努めていきます。



ブースでは、県産農畜産物を使った水アートが展示されました



雨の中たくさんの方が足を運んでくださいました

